

納めLINE

令和3年度第4号

納めてください（標準語）・納めらいん（宮城の方言）・納めLINE（通信紙の名称）

・ 搜索実務研修を実施しました

12月2日（木）、気仙沼地区住民税徴収確保対策会議職員研修会にて、当機構の職員を講師とし、搜索実務研修を実施しました。

搜索とは、相手の意思にかかわらず実施できる強制調査であり、財産調査によって財産が発見されない場合や自宅等に財産を隠している可能性がある場合に行う手法です。

本研修では、座学にて関係法令や実際の搜索映像を確認した後、「実際に搜索長になってみよう」と題したロールプレイングを行い、多くの参加者に搜索長の立場を体験していただきました。

実際の搜索では、普段生活している家や会社等に立ち入り、部屋の隅々まで調査を行います。対象者への負担が大きいだけでなく、近隣住民等の世間体もあることから、極力、執行を避けたいものです。

搜索などの大きな滞納処分を避けるためにも、納税について困っている場合、決してそのまま放置せず、市町村の担当窓口等へ相談し、早期解消に向け努力していただきたいと思えます。



ロールプレイングの様子

・ 搜索レポート～動産差押えから完納に至る実録～

滞納者は60代男性。折衝は委任を受けた妻と行っていましたが、家事や仕事を理由に電話は短時間で切り上げられ、連絡日を約束しても不履行が続き、幾度の架電にも反応すらありませんでした。滞納者宅に訪問し、妻と直接折衝を行いました。自ら申し出た納付も一度も履行されることはありませんでした。これらの状況から、財産・生活状況等の確認のため、搜索を実施しました。



搜索日、午前10時過ぎに搜索員4名で滞納者宅を訪問したところ、妻は突然の訪問に困惑した様子でした。直ちに完納しなければ搜索する旨を伝え、妻を立会人として搜索を開始しました。

搜索員が居間を確認すると、ゲーム機本体3台とゲームソフト10本を発見しました。すると妻が「夫ではなく、長男の所有物だ。」と主張してきました。しかし、長男の所有物と証明する術がなく、差押えの対象となる旨伝えると「ミシンはどうか？ゲームは夫のものではないため、差押えは困る。」と慌て出しました。どうしても差押えが嫌ならば今すぐ全額納付するよう再度伝えましたが、どうしても納付はできないとのことで解決に至らなかったため、差押えを執行し、搜索を終了しました。

この案件では、搜索終了時に近日中に全額納付するとの申出があり、後日、約束どおり窓口で完納したことから差押えを解除しました。搜索及び動産の差押えを受けて、事の重大さに危機感を持ったのだと推測されます。以上の実録から、滞納処分の一つである搜索及び動産の差押えは、納税意識を強く持たせることができる有効な手段だと実感しました。

・ 搜索時に差押えた動産が落札されました

差押えた動産は、上記の記事のように完納による差押解除とならなければ、換価手続きとして、インターネット公売（KSI官公庁オークション）に付すことになります。今年度も機構では多くの搜索と差押えを執行し、移管元市町村で公売に付しました。その中から1月開催の公売に付した2件を紹介します。



○気仙沼市出品
一眼レフカメラ
「Canon EOS Kiss X4」
見積価額： 22,400円
落札価額： 59,500円
参加申込： 23人
入札者数： 3人



○涌谷町出品
サクソ
「Kaerntner 2799」
見積価額： 3,000円
落札価額： 68,900円
参加申込： 34人
入札者数： 6人

これらの換価代金は、滞納処分費を差し引いた後、滞納税金に充当されます。機構では、今後も滞納の早期解消のため、適正な滞納処分に取り組んで参ります。

・活動状況報告（令和4年2月末現在）

今年度の宮城県地方税滞納整理機構の活動状況についてお知らせいたします。

○引受案件	455 件	引受滞納金額(本税)	3 億 2,012 万 4,934 円
○徴収率	37.66 %	徴収金額(本税)	1 億 2,054 万 7,409 円
○差押件数	182 件	差押金額	2,000 万 6,222 円
○本税完納件数	163 件	本税完納金額	6,454 万 3,774 円

今年度も市町村の皆様の御協力のおかげで目標である25%以上の目標徴収率を達成できました。来年度も徴収の公平性と収入未済額の縮減を図りながら、引き続き適正な徴収業務を進めて参ります。

・スタディミーティング～菅原室長講話「私の滞納整理体験」～

2月2日（水）、第9回スタディミーティングとして、宮城県登米合同庁舎を会場に、当機構事務局・地方税徴収対策室の菅原室長を講師に迎え、「私の滞納整理体験」と題して講話を行っていただきました。

菅原室長は、昭和55年に宮城県に入庁後、県税事務所をはじめ様々な部署でご活躍され、今年度末に定年退職を迎えられます。また、入庁からこれまで、通算23年と非常に豊富な税務経験をお持ちです。

講話では、入庁後から現在までの経歴をはじめ、滞納整理従事経験や差押え・公売事例、思い出に残る滞納整理事案を2時間にわたり紹介していただき、受講者の皆さんは傾聴していました。

滞納整理にあたって大事なことは多々ありますが、その中でも、「目標を持って取り組むこと」、「財産調査・滞納処分への早期着手」、「約束不履行時の行動」について、事前に自分自身で定義しておくことが特に重要であると、講話を通して改めて感じた方々も多かったと思います。

また、実体験をふまえた滞納整理事案が赤裸々に語られたことから、それぞれが「自分だったらこの事案についてどう対応するか」を考える良い機会となりました。

豊富な税務経験に基づく菅原室長の講話は、今後の滞納整理に役立つ、非常に貴重で参考となるものであったと思います。これから受講者の皆さんが、滞納整理で困ったときや悩んだとき、迷ったときの道しるべになるとと思います。



スタディミーティングの様子

・事務局長のつぶやき

私事になりますが、この3月末をもって定年退職により事務局長を退任します。機構には通算4年間勤務しましたが、この間、参加市町村はじめ関係機関の皆様にご支援・御協力をいただき円滑に運営できましたこと、改めて感謝いたします。

さて、全国には当機構と同様の任意組織による滞納整理機構が多数（R3.3月末現在18組織）設置されていますが、平成30年以降、「目標値を達成した」「所期の目的を達成した」として解散した（する）組織が複数出てきております。

愛着ある機構ではありますが、市町村税収入未済額の縮減と人材育成がさらに進み、機構が所期の目的を達成し解散することが機構のゴールとっております。そんな日が早く訪れることを祈念しています。

【ご意見・ご要望などはこちらにお願いします】

宮城県地方税滞納整理機構（宮城県総務部地方税徴収対策室内）事務局

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL：022-211-6681

FAX：022-211-2289



滞納整理機構
キャラクター
おさおね君